

田んぼや小川の生き物をさがそう

写真協力：高津琴博氏、松田隆喜氏、松村俊幸氏



(大きさ25cmまで)

ギンブナ

川の中流から下流、湖、沼など泥底の場所にいる。汚れた水に強い



(大きさ10cmまで)

ドジョウ

細長い体に、ひげが10本。底が泥で流れがゆるやかな川、池や沼、田んぼにいる



(大きさ15cmまで)

ドンコ

すんぐりした体、背中にひし形もよう。小石や砂の多い川にいる



(大きさ4cmまで)

メダカ

ゆるやかな流れの小川、池や沼、田んぼにいる。他の魚の子どもとまちがえないように注意。



(大きさ12cmまで)

オイカワ

写真は7-8月ごろのオス。それ以外の時期のオスやメスは銀色



(大きさ15cmまで)

カワムツ

写真は7-8月ごろのオス。それ以外の時期のオスやメスは銀色



(大きさ30cmまで)

ウグイ

メスが卵をうむ5-6月ごろになると、オスの体の一部がオレンジ色になる。ふだんは写真のような色



(大きさ60cmまで)

ナマズ

大きな口と4本の長いひげをもつ。川や池、湖の底にすむ



(大きさ15cmまで)

カマツカ

底が砂の川にすむ。口の先が平たくとがっている



(大きさ15cmまで)

トウヨシノボリ

ヨシノボリはたくさんしゅるいがある。もようや色もよくにいて見わけにくい



(大きさ5cmまで)

サワガニ

山あいの小さな川にすむ。右か左のどちらかのハサミだけ大きいものが多い



(大きさ6-20cm)

モクズガニ

ハサミとあしに毛がはえている。海で卵をうみ、海から川へのぼってくる



(大きさ20cmまで)

イシガメ

甲らのうしろが、ギザギザになっている。池、川、田んぼにすむ



(大きさ25cmまで)

クサガメ

甲らに3本のたて線がある。目の後ろに黄色いもようがある



(大きさ35cmまで)

スッポン

甲らはやわらかい。はなの先がとがっている。かまれることがある



(大きさ14cmまで)

アカハライモリ

4-7月にオスのしっぽが青色になる



(大きさ約5cm)

スジエビ

すきとおった体に黒いしまもようがある。すじのないエビは又マエビ、長い手があるエビはテナガエビ



ゲンゴロウ



ヒメゲンゴロウ

ゲンゴロウのなかま

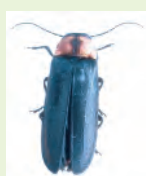
たくさんしゅるいがある。足の毛が多い



(大きさ3-4cm)

ガムシ

足の毛が少ない



(大きさ約2cm)

ゲンジボタル



(大きさ約1cm)

ハイクボタル



(大きさ2-3cm)

コイムシのなかま



(大きさ7cmまで)

タイコウチ



(大きさ8cmまで)

ミスカマキリ



(大きさ約2cm)

マツモムシ

うしろむきにおよぐ



シオカラトンボ



イトトンボ



ギンヤンマ



ハグロンボ

トンボのヤゴ

しゅるいによって形がちがう。泥の中や水草にすむ



(大きさ約1cm)

ヨコエビ

よこむきにおよぐ。冷たい水の所に多い



(大きさ約1cm)

ユスリカの幼虫

あかむし、ともいう。あさい泥にすむ



(大きさ約1cm)

イトミミズ

土をたがやすはたらきをする



(大きさ10cmまで)

ヒルのなかま

血をすわないヒルもいる



(大きさ3-4cm)

カワリナ

ホタルの幼虫のエサになる



(大きさ4.5-6cm)

マルタニシ

田んぼや湿地にすむ



(大きさ約3.5cm)

ヒメタニシ

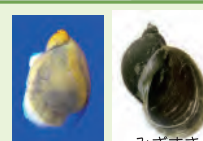
タニシの中では一番よく見られる



(大きさ約6.5cm)

オオタニシ

池や沼に多い



みぎまき (大きさ約2cm)

モノアラガイ

さいきん少なくなっている



ひだりまき (大きさ約1cm)

サカマキガイ

外国からきた貝。日本のタニシとはちがって左まき



ドブガイ

(大きさ20cmまで)

ゆるやかな流れの川、池や沼にすむ。



イシガイ

(大きさ9cm)

ゆるやかな流れの川にすむ。砂や小石のなかにすむ



マシジミ

小川の砂や小石の中にすむ。お店で売られているのはヤマトシジミ